

令和5年11月28日

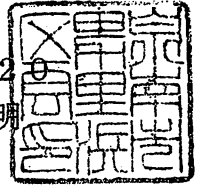
泉南清掃事務組合

管理者 泉南市長 山本優真 様

副管理者 阪南市長 水野謙二 様

泉南市男里7丁目29-2

男里浜区長 和田公明



見返り策は予算化の期限以前に確定させることの申し入れ

貴事務組合と当区は、温水プールの廃止に伴う見返り策の実施が必要であるとの共通認識のもとに、現在は貴事務組合からその具体的実施案が提示されるのを当区がお待ちしている状況にあります。

ところで、貴事務組合はご自身のホームページにおいて、温水プールは令和6年5月31日をもって閉鎖する旨を公表されておりますが、貴事務組合がこの閉鎖日においてもごみ焼却場の操業を継続されるというのであれば、見返り策は遅くとも閉鎖日には実施可能な状況に至っている必要があることには議論の余地がなく、貴事務組合がそれを実現させる義務を負われていることは明らかであります。

貴事務組合は、本日現在においても見返り策についての具体案を一切表明されていないため、如何なる方法でそれが実現されることになるのかは、当区は全く把握しておりませんが、如何なる方法でそれが実現されるにせよ、そのための資金的裏付けの確保(予算化)が必要になってくることは論を待ちません。

当区としましては、遅くとも温水プールの閉鎖日には見返り策を実施可能な状況に至らせるためには、見返り策は令和6年度の予算化の期限以前に確定させる必要があると認識しておりますので、貴事務組合におかれましても当区と同等にご認識いただきますよう、本書をもって申し入れます。

なお、当区におきましても、見返り策の確定に向けた準備・検討作業が必要となっておりまいますので、本件の予算化の期限がいつ到来するのかを、速やかにご回答いただきますよう、ここに要望いたします。

当区としましては、「令和6年度の予算化に間に合わなかった。」などという対応は、一切受け入れる余地がないことを、予めここに強く申し入れておきます。

泉清事第 150 号
令和 5 年 11 月 28 日

泉南市男里浜区
区長 和田 公 明 様

泉南清掃事務組合
管理者 山本 優 真



男里浜区役員との懇談会議事録について（送付）

時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

先日は、標記の懇談会に御出席いただき、誠にありがとうございました。

さて、和田区長様から御依頼をいただいております当日の議事録について、
作成作業が完了しましたので、別紙のとおり送付させていただきます。

男里浜区役員との懇談会議事録（概要）

◇日 時： 令和5年11月1日（水）15:00～16:20

◇場 所： 泉南清掃事務組合 3F 会議室

◇出席者： 浜 区；和田区長、清水副区長、原副区長、亀谷事務長、境目副事務長、居村会計、
宇澤理事

当組合；山本管理者（泉南市長）、水野副管理者（阪南市長）、稲垣事務局長、
川村事務局次長、古木事業課参事、栗阪事業課長、八塚事業課主幹

《管理者挨拶》

現在、組合では次期ごみ処理施設整備事業として、泉南市、阪南市から排出される一般廃棄物の安定処理を図るため、新たな工場建設に向けて作業を進めている。

新工場は、温水プール解体後の敷地を利用して建設することから、これまでに、現清掃工場整備の補償として建設された温水プールに替わる代替案について、様々な要望をいただいているところである。これについては、具体的な回答を提示できていない状況であったが、ようやく施設の概要や全体計画がまとまってきたので、地元還元の方策について、地元の皆さんと正副管理者との懇談の場を設けさせていただいた。

限られた時間ではあるが、浜区役員の皆さんには、忌憚ない意見、提言をいただきをお願いを申し上げます。

《参加者紹介》

《組合より現在の状況報告》

（局長）次期ごみ処理施設整備に関する事業は、令和2年度から着手しており、まず、次期ごみ処理施設基礎調査として、既存清掃工場敷地内で新しい清掃工場の建替えが可能かの調査を実施した。

令和3年度は、一般廃棄物処理基本計画や交付金の適用に必要な計画の策定などを実施した。令和4年度からは、大きく3つの事業を実施している。1つ目として、既存清掃工場の敷地内の土地や建物の大きさの測量、敷地境界等の整理を実施し、図面の作成を行う用地測量業務を実施した。2つ目として、大規模な事業を実施しようとするときに、施設の設置による環境変化の程度と範囲を予測する生活環境影響調査を令和4年度から実施中である。3つ目は、新工場に必要な諸条件の設定や、施設基本計画や全体計画の作成、建設予定地における地盤・土壌調査などを令和4年度から実施中である。

以上が、次期ごみ処理施設整備事業の現在の状況である。

《懇談》

（浜区）今、局長から焼却場の経緯について話があったが、今日話に来たのは、本体についての話ではなくて、建て替えに伴う温水プールをどうするかということ。今問題にしているのは、温水プールである。その話は、私のメモからすると令和3年ぐらいからずっとやっている。設計をやる中においてプール跡に建て直すという話だった。そうすると、このプールが建てられた一番最初の目的が壊されている、そういう状態になりつつある。

これは、ここの歴代の事務局長、あるいは我々浜の区長、理事、彼らが一生懸命知恵を絞って、いかに仲良く互いに共有し合うという中でプールができあがったものである。そのプールを廃止するにあたって、

泉南市は新しい所にプールを建てると。だからプールができるからいいんじゃないかと、こういう感覚で話が進んでいるはず。今から作るプールと今現在あるプールは中身、目的が全く違う。あのプールは学校プールがなくなった、どこも使えなくなったからできたはず。ここを潰すからできたわけではない。もし仮にプールを潰すのであれば、代替えをやってほしい。

それもプールが使えなくなる時点で、代替え施設を造ってほしいという要望で一番最初始まったはずである。何回も会議を進めているが返事がない。

だから、両市長が来られているが、どの辺りまで話を聞かれているのか伺いたい。

(浜区) 具体的な見返り策を提示してほしいということに尽きる。来年の5月にクローズされるのは間違いないので、それまでに具体的な見返り策、温水プールとその横のゲートボール場、あれも一緒に造ったものだから、その見返り策を早急に提示していただきたい。検討していることがあれば、今日も出していきたい。

そのお願いの文書は、10月30日付で出しているのですが、ぜひとも具体的な見返り策をこの場で提示していただきたい。

(浜区) 何回も要望書を書面で出している。最終的に言ったのは、事務局というのは、こういう会談を持つ中継ぎであって、局長自身の意見を聞く場ではないと。我々と話をしているが、局長が言った言葉が両市の言葉なのか、その辺りはっきりわからない。だから実際に局長から、どういうことで本当に話が入っているのか。それに関してどういう政策を打っていくのか、それを聞きたい。ただ単に懇談会ではない。今まで2年間待ち続けてきた。やっとコロナが和らいだ時点でどうしても詰めないといけない。プールがつぶれた後にこんな話はできない。それまでに両市の方で我々に対して、こうやりますと書面で出していきたい。

我々理事会も総会で、区民に対してこういう問題があるのでやると話を出している。ホームページを見てもらっても結構である。我々は、会議については全部ホームページに載せるようにしている。

以前、我々が先走ったのかどうかわからないが、組合からこれはホームページに載せるのは相応しくないのではないかとクレームが付いた。それ以降、こういう会議があったというだけで、中身は全然載せていない。どこにも公表していないが、みんなの頭には残っている。

だが、会議の中身を公表しないというのは、何のためのホームページか。それが正しいのかどうか、その辺りの若干の差異やクレームがあったとしても、ホームページに載せてもらっては困ると、そんな話はない。

その件については、会議はやったが中身について触れていない。内部だけの話にしている。そういうのを何年かやってきている。ちょっと考えれば滅茶苦茶な話である。竹中さんから山本さんに管理者が代わって、どの辺りまで本当に内容を把握して今日の会議に臨もうとしたのか、その辺りを聞きたい。阪南市についても全く同じ。局長が述べたことが両市の答えなのかどうか。

(浜区) それでも結構だと。局長が今まで言ったことが両市長が言ったことだと言ってくてもいい。どこまで聞いているのか。市長が代わった段階で、こういう話があると山本市長がいつ聞いたのかということをお返答してほしい。阪南市長も同じく、いつこの話を聞いたのか、この話が何回目なのか、返答をお願いします。

(管理者) この話は令和3年度だけではなく、もう少し前のタイミングから当時の小寺区長から出された文書も含めて読み込んでいる。昨年度の5月に市長が代わったので、前市長から私に何か直接引継があっ

たわけではない。だが、担当からこれまでの経緯は一定説明を受けおり、浜区からの要望も読み込んでいます。

まず、私がこの場で話をするのは初めてなので、私も市議会議員だったのでごみ焼却場の成り立ちから浜区の皆さんからいろいろ訴えがあって、かなり大変な思いをされて、ごみ焼却場ができるにあたって地元の皆さんへの還元施設として温水プールができたというところはしっかりと認識している。その中で、浜区にごみ焼却場ができることに当たっての地元への還元施設であったが、前市長の時に中央公園にプールができるという話があり、プールをどうするのかと。

ここをどのようにして皆さんと話をしながら、皆さんに還元するということは大前提において、話をやっていかなければならないと私も当然認識している。

確かに具体的な返答ができなかったことは、非常に申し訳なく思っている。中では例えば皆さんが会議ができるスペースであったり、体を動かせるような屋内でスポーツができるようなスペースであったりとか、いろいろなものを複合的にすることによって、それが本当に浜区の皆さんのニーズに即したもののなのかというところがわからなかったが、案出しはしていた。

今までの文書を読み込めば、還元施設であるプールを新しい施設を造るという理由で閉じるということをごちら側の都合でやったわけだから、代替案を提示すべきだという話は当然理解はする。ただし、本当に浜区の皆さんの還元施設たるものをしっかりと提案していこうと思えば、今の浜区に住んでいる皆さんがどういったものを求めているかという根源的な部分をしっかりと把握をしたい。とりあえず健康増進の還元施設として、プールが閉まるからこれを造ればいいという話は逆に失礼かなと思っており、実際に焼却場がある所の皆さんが本当に何か欲しいのか、これだったら認めてもらえるのかというのは、こちらから一方的に提案するのではなく、しっかりとニーズを探りながらやっていく必要があると思っている。

先ほどの話で交渉と折衝という話がある。交渉はいわゆるこういった場での話。折衝は実際にどういったものがあるか。例えば金銭的なものなのか、こういう建物なのかという、これは言ったがやっぱり違うとか、いろいろなものを出し入れできる。これは折衝だが、その部分は、こういった公の場ではなかなかできない。だから、その辺りはちゃんとしたものを作り上げていくために下準備の調整の場を定期的に設けていただき、どういったものが皆さんにとっていい物なのかということを練り上げていく必要があると思っている。こういった場で出し入れすることはなかなか難しい。

仮に公開するということは、泉南市民の皆さんに「なんぼでどうや」と「それはだめだ」と。それはそれでいいんだが、そうするとなかなか地元浜区の皆さんの声を政策として練り上げていくのに、いろんなハードルが出てくるというリスクがあるので、そこは使い分けて、ここから踏み込んで具体的な話に移っていきたいというのが私の率直な思いである。

当然のことながら、できるだけ早くプールが閉じてしまうまでに、できるだけ何かを、なんとなくこういうものかなというものが出てくるような努力はしなければいけないと思っている。

そういったところで、これから具体的な調整ができればと思っている。

(浜区) 山本市長は、議員時代から浜区に非常によく入って来て、地元の方の要望もいろいろと把握していた。知り合いも非常に多いわけで、そういう付き合いもあり、浜区の住民の要求をそれなりに把握しているのでは。浜区に関する要望は、提示することは少しも失礼ではないと。むしろ提示していただく方がありがたい。これまで議員として要望もつかんでおり、提示していただければうれしい。

(副管理者) 先ほど質問のあった本日の懇談の要望書については、拝見し説明も受けている。これまでの

ことについても、適宜、事務局から報告を受けている。もちろん受ければ意見交換もしているので、事務局が話をしていることについては、聞いた範囲のこととして対応しているものだと考えている。

このプールの問題に対して、まず閉めるのだから代替えをとという話だが、この辺も個別ではなく新炉建設に伴って閉めることなので、新炉建設に伴う補償の問題の一つとして検討していきたいと思っている。必要なこととして検討したいと思うので、地区の方から忌憚のない思いや要望をいただく必要があると思っている。

(浜区) 返事が返ってこないというのは、泉南市も阪南市もそういう話は一切していないということなのか。そちらからは一切報告はない。浜区がこういうふうを持ち上げたら動くだけ。ホームページに上げるなど言っておいて、そういう話すら上がってこない、浜区に一切言わない、情報を流さないということで信用しろというのか。

(管理者) 気持ちは分かる。要望書をいただいておりますが、今現在の段階で答えを出せないなら出せないという文書を出すべきであったと、申し訳なかったと思っている。そこは、ちゃんと気を配らなければいけなかった部分だと思う。文書となると堅苦しくて、どういうふうに書いたらいいかわからない部分があるが、文書でなかったとしても何らかの返しをすべきだったと思う。初めてこういう場に参加させていただき、改めて具体的な話に踏み込んで聞ければと。

確かに私が市会議員の時代は、浜区の方と話をする機会はたくさんあったが、その時は市会議員として浜区の皆さんが抱えている課題の部分を、どのようにして解決できるかという目線で対策をしていた。市会議員をしている中で、ごみ焼却施設の今までのいきさつの話は聞いたことがあるが、プールがなくなるから代替案がどうか、そういった具体的な話は聞けていないのが正直なところである。

(浜区) あのプールがどういう経緯で建ったのか、それが使えなくなるときに我々に対して「どういう代替を考えないといけないか」そういう思考が巡らなかったのか。

(管理者) 今までの経緯があるので、新炉の建替えにより以前のプールが使えなくなることがあるので、この部分の還元をどうするのかというのは、大前提として考えていかなければいけないと認識している。

(浜区) 要望を出して、そちら側でいろいろと検討してきたと思うが、メモの一つでもいただければ一生懸命検討してくれているということがわかりよかったのだが。検討していることはわかるが、わからなければ疑問、不安、不信が生まれるので、そういうことは避けていただきたい。

一つの還元として福利厚生的なもので、スポーツ云々ということを提示していただければよかったと。

(管理者) いわゆる交渉というテーブルには載らないが、プレストから一步踏み込んだ段階で、「これはどうか」「やっぱり無理だな」とこれを少なからずやってきた。この辺の部分、今こういう話をしているということを事務方と区の役員と共有しながら、「そう言ってもこっちのほうがいいだろう」「皆こんなのを思っている」とかをここで言わせていただきたいと思っている。

(浜区) 今日こういう形で会合を持っているのは、我々で辛抱がたまらなくなったわけである。いつまで経っても埒が明かないと。日付を切って書いたものをくれと。これまで書いたもので返答をもらったことはなく、口頭でやり取りしているが、今のままだと下手をするとプールが無くなった後にまだ交渉を続けて行かないといけない状況になりかねない。それは困るということで、今月末までに文書で回答をとという文書を出したら、局長としては文書で回答できないので、市長も交えての話し合いをしようということで今日集まっているわけである。

過去2年前から折衝レベルではないが、とりあえず話し合っているが、その連絡が市長レベルでどの程度いって、それに対して何らかの指示をしたのか、その辺を聞きたい。

(管理者) 今こういう状況になっている、こんな形で要望をいただいているという、その辺りの共有はしている。

(浜区) 具体的な折衝のためにキャッチボールをしようというのは、大いに賛成である。そのキャッチボールをするための何らかの動きをしていたのかどうか聞きたい。ただ単に聞いて「分かった」で済ませたのか、「これについては、こういう回答をしておいてくれ」ということを言ったのか。時間的に半年前のことではなく、2年間の間に清掃組合と話をしているのは1回、2回ではない。その間が無駄になっているような気がし不信感がある。管理者としての内部的な意思疎通がしっかりしていれば、回答がもっとポンポンと返ってきたと思う。

(浜区) 先ほどの発言の中で複合的な運動施設と言っていたが、例えば折衝の場でそういう提案があれば、こちらで具体的にいけるのではないかと話ができる。ボールの投げかけを是非ともしていただきたい。

(浜区) どちらから先にボールを投げるのかと言えば、清掃組合から投げてほしいと思う。無くすのは清掃組合だから。

(浜区) 去年のお金の話について、市長はご存じか。

(管理者) 報告は受けている。

(浜区) その結果の話は、浜区に報告はなかった。どちらが投げたかは知らないが、結論すら言わない。それは両市長の指示か。

(副管理者) 私は竹中さんと一緒にここへ座ったことがあるので、その時代から、今2年間の話もあったが、新炉建設をせざるを得ない、延命には限界があるということで、建て替えが始まると我々としてもその準備に入っている。その間、地区の皆さんにおいては、無くなってしまって新しくなるのだから、当時、交渉してプールを含めてできた、それがどうなるのかという、その辺の不安は当然だろうと思っている。

ただ、返しが遅くなっている理由の一つは、建て替えに様々な手続きを踏んできているが、新炉の全体像、新しい炉が時代に応じてどのような機能を持たせていくのか、それが地域の皆さんにとって、今の炉と違ってどういう影響になるのか、スペース的にどうかとか、全体の確定したものが我々もつかみ切れていない状況が続いてきている。その中で金銭的なものがあつたことは聞いているが、金銭的な解決だけではなくて、そのほかのことも含めて議論をしなければいけないと思っているので、事務局はその意を受けたのかもしれないが…。

(浜区) 返答するなら分かるが、キャッチボールをしろと言うが、投げて何も返ってこない。

(管理者) それが難しいとか、金銭的なものも一つの選択肢であるが、幅広にいろんな手法があるので、そこに絞らずに皆さんと折衝というか、意見交換を進めたい。何らかの返しをすべきであったというのは、先ほど言ったとおりである。こういうふうに来たらどうするかというときに、こちらがどう対応していたかという、どう全体計画がまとまっていくのか全く見えない中で、踏み込んだ回答ができなかったというのが正直なところ。だから具体的な回答が書面でできない、そこにおいて、それならそれとして、地元に戻すというその部分は当然必要だったという話。

(浜区) 全体像として最終的にここは建ちあがるのか。

(管理者) 全体像の話をしてもいいか。

(浜区) 全体像はまだ見えていないのか。

(管理者) こういうような方向でいきたいというのはある程度決まっているが、こちら側の話であるが、建設コストが1.7倍になるので、当初165億円で積算していたものが、282億円に増えた。これをそのまま進めてしまうと両市の財政が非常に厳しいものになるということがあり、一旦そのネゴシエーションをもう一度しなさいと、具体的な話に入っていけないので、一旦額を積算し直して、業者と詰めてくれと。ネゴシエーションした結果どれくらいまで圧縮できるのか、圧縮できた額で全体計画のままいけるのかどうかという判断を、今年度中にしないといけない。ただ、全国のごみ焼却場の事例を見ても、高い値段で止めている自治体も結構出てきている。だから、必ず予定どおりの時期に建つという保証がない。議会でもそのような回答をしている。今でもそういう状況であるが、今までどおりに全体計画がガチッと決まっていけないからといって、皆さんに何も返さないとか、中で検討しているのを共有しなかったら、また余計に時間が経ってしまうので、そこは並行して、やり直しをさせていただきたいというふうに考えている。

(浜区) まだ先が決まってないなら、温水プールだけをとらえて話をすれば、来年ボーリングする必要もないのか。施設が決まるまでは、運営してもいいという捉え方でいいのか。

(局長) 来年5月で一旦閉鎖の予定である。

(浜区) 建設がいつ始まるか分からない、いつ試験掘りするか分からない、この間は従来どおりプールは運営されるという解釈でいいのか。

(局長) 今、尾崎スイミングに指定管理しており契約は5月まで。

(浜区) 指定管理は5月まででも過去には独自で運営していただろう。

(局長) 新工場の着工の時期が延期されるかどうか決まった後、延期されるのであれば、その期間は何らかの対応は必要だと。ただ、指定管理でいくのかどうか。

(浜区) 向こうと天秤にかけているのか。

(局長) 違う。仮に資材高騰などで工事費が上がっているので着工を3年延ばすとなれば、その時にプールをどうしていくかということをこの年度末までに決めるということ。指定管理がやってくれるかどうかもわからない。

(浜区) 今年度末というのは12月か3月か。

(管理者) 3月である。

(浜区) プールが閉まるのは5月だろう。すごく時間的に急くのではないのか。

(管理者) タイムである。

(浜区) これまでの口頭での折衝の中で、代替え施設はこの清掃工場の外でも結構だと、そういうことも出したこともある。管理者から複合施設云々のことが出ているので、それをこの場で提案の一つとして出させていただいて、あと折衝の場に移すということもいい方法ではないかと考えている。そういうボールが投げ掛けられたと受け取って帰ってもいいか。

(副管理者) 当初立てた計画が、様々な状況の中で高騰してきており、そのまま進めるにあたってはいろんな確かめをしないとけないし、両市において予算の確保もしないとけない。そういったところを今最終確認している。その結果、予定どおり進むのであれば、当初のクローズの時期が生きてくるのかもしれないが、そこのところがはっきり決まっていけないということと、時代に即応したどういった機能を持った施設、地元に対してどういうプラスやマイナスの影響が出るのかどうかということも、しっかりとつかみたいと思っている。

いずれにしてもプールが先にクローズするのだから、その代替えをという話であつたが、冒頭で話をし

たように個別ということではなく、今申している事情を参酌していただき、新炉建設に当たって全体の中でどういう補償の形を取るのか、検討を進めさせていただきたい。

(浜区) 我々の考え方は、新炉建設は新炉建設である。新炉建設とは別に温水プールとゲートボール場がある。この炉ができた時に温水プールやゲートボール場ができたのではない。最初に清掃工場ができ、次に増設云々が起きた。その増設云々の時に温水プール並びに運動場が出てきた。

だから、新炉建設、それはそれで進めていただいて、地元にも進捗状況を説明していただく必要はあるが、それとは別に温水プール並びにその横にあったゲートボール場の代替措置。これは潰すのは間違いないのだから、それはそれで別途予算を立てていただき、もっとはっきり言えば込みにしなくて、分けて考えてほしい。来年5月にクローズするのだから、そのことだけでも予算化してほしい。

(浜区) 浜区としての主張は、全体計画とは別に考えてほしい。実際に炉ができるのは10年も先の話だから。だがプールに関しては来年の話である。時間軸が全然違うものを一緒に考えてくれというのは、建物の老朽化に応じていつかは出てくる問題だったが、浜区としては降って湧いたようなもの。無くなりますよと一方的に言われて、無くなる代わりにこんなものを建てましょう、これで納得してくださいという話でなく、10年後の全体構想がどうなるかわからないというものと一緒くたに考えてくださいとお願いということで言われたが、浜区としてそのお願いを受けれるかどうか、もう一回考えないといけない。

(浜区) 局長には三つのお願いをした。一つは維持費の問題、二つはプールの代替の件、三つは本体ができるかどうか。この三つの問題を別々に切り離してと最初から話をしている。

(浜区) 浜区がこういう言い方をしているということは、一切市長に伝わっていない。

(局長) まず、46万円の件は前小寺区長にはっきりと断ったはず。できませんと。

(浜区) 何ができない？

(局長) 浜区からの要望では、その46万円を組合から泉南市の一般会計に入れている分を直接浜区に…。

(浜区) なぜ切り離すかと言うと、この46万円は泉南市が受け取っている。ここは払っている。だから今日は言わないが。

(浜区) 今日の話題ではないので問題にしないでおう。

(浜区) 問題は三つある。最初から三つと言っているのに今になって一緒くたに考えてくださいって。それなら最初から言え。

(浜区) 本体は本体の問題。温水プールは温水プールの問題だというふうに、これは問題が違っていると我々はずっと主張してきたところ。是非とも分けて考えていただきたい。

(副管理者) 主張はわかっている。我々のこともまた汲み取っていただきたい。

(浜区) 両市長から一緒くたに考えてくれという話は一切出ていない。

(管理者) ごみ焼却場ができるにあたっていろんな話があって、ごみ焼却施設ができることに対して地元の皆さんに負担をお願いするということで、還元施設としてプールができたわけだろう。

(浜区) 説明の中にも全部資料を送ったと思うが、本体ができる時の補償としてやっていただいたのは、清掃組合に浜区民センターを建てていただいた。建てっぱなしでは困るので、その運営のお金を出すというのが一つだった。また、この地域にはその頃には保育所がなかったの、保育所を作るというのが二つ目だった。

(管理者) その話は聞いていない。

(局長) その話は関係ない。

(浜区) 市長はどういうふうに聞いているのか。

(管理者) この場所にごみ焼却場ができる、当然のことながら、他の地域に比べて負担をお願いしなければいけないので、その還元施設としてプールを建てたと。

(浜区) それは違う。

(管理者) だから、こちらはこちらと切り分けて。補償を二つずっとやり続けていくという話になるだろう。こちらの補償とプールの補償を切り分けたとしたら、新設の補償と二つ出てくる。

(浜区) プールができた経過は、ここの本体の増設計画というのが出てきた。

(管理者) その話をしただしたらあれだな…。

(浜区) 経緯についてはここに残っているので見ていただいて…。最初からの把握をしていただきたい。

(管理者) これは、市民に対してかなりオープンでやらないとだめだな。

(浜区) それに関しては、当時の両町長と両議長が議会でも了承を受けてその書面は残っており、浜区のホームページにも載せてある。それぞれの書類があるので、その部分と増設計画が出た。つまり一杯になって、ちょうどこの部分に残灰を埋立てて、とても処理ができなくなったので増設しないといけなくなった。

(浜区) 増設というより増強。

(浜区) それに関して、ではどうするかということで増強計画を認めてくれという経過の中で作られたのが温水プール並びに運動場である。我々はそういう認識を持っており、清掃組合も当然そういう認識を持っていたというのであった。増強計画に伴って住民の福利厚生施設として建てられたものが潰れるから、それを何とかしてということ。本体に関わっての建替えの話は、浜区民センターを建てていただいた、維持管理に関して責任を持ってもらっているという経過があるので、それは本体に関わっての部分であるだろうと。あといろいろとお願いした中では、周辺的环境整備もやるというのが了承され、その一例というのが男里川の入ってくるこちら側に遊歩道が設置されているが、それも最初の還元策として環境整備ということで清掃組合がやっていただいたという経過がある。書面は、また持つて行くので…。

(浜区) 例えば、新規の焼却場についても、令和3年5月の次期ごみ処理施設基礎調査報告書の中において、第4節、「ごみ焼却に伴い発生する排ガス、排水、騒音、振動及び悪臭による周辺への影響が懸念される。」そういうことをはっきり言っている。新工法でも公害を完全に除去することができない旨を自ら確認している。それをしっかりと文書で残しているはず。

先ほどの切り離し云々においても、本体とプールは別問題。新しい物ができたとしても、やはりそういうものが出て不思議ではない。迷惑を掛けないことはできないとはっきり謳っている。

(副管理者) 今、改めて口頭で説明を伺って認識を改めてしたところであるが、いずれにしても今の炉を建てた時と増強したときに関わって、そういうものが形成されてきたということ。そして、今の炉とこれから作る炉というのは、どういう機能で、地元に対して影響を与えるかということは、しっかりと見定めないといけないし、マイナスを小さくするものでなくてははいけない。

そういったことをしっかりと見定めた上で、一括して協議をしたいと。

(浜区) こんな言い方はおかしいかもしれないが、原子炉はどうか。今まで無害だ、公害を起こすことはない夢の世界で来ていた。原因は津波だったが爆発した。どうなったか。施設がある所が被害を被る。

(副管理者) それは理解している。

(浜区) それはもうやめよう。何度も言うように、温水プール並びにゲートボール場は、増強施設に関わ

っての部分の地元還元策であったと我々は考えているし、そういう文書が残っているので、よく精査していただいて、この分に関しては、複合的な施設としてのボールの投げかけがあったとして我々は…。

(管理者) いや違う。それは、先ほど言った交渉と折衝という中で、折衝の過程の中でそういう話があったという話。当然のことながら、前区長から金銭的な提案をいただいているので、ここが決まっている訳ではない。こちらから交渉の場で提案したものではない。

(浜区) 前区長の場合でも、例えば金銭的なものもあるというので投げかけられたから。認識が違うのだから言った言わなかったという話になるからやめておこう。どのような形でも、ボールを早く投げかけてほしい。

(浜区) 浜区としての認識は、最初、焼却場が建ったとき、いろんな経緯があったが合意して、これだけのことをしてくれたらOKとなったのが、今回新しく建てると、その時に今までの合意がひっくり返されている気がしている。それはないだろうと。その合意が口頭だけのものなら仕方がない、言った言わないの話になるが、文書として残っている。まず、それを見ていただき、昔からの経緯があるんだなど。それについての判断をいただいた上で、全体構想云々のこともあるが、こちらとして全体構想の中に入れてほしくないのは、10年先の話と来年の話を一緒にたにするなという話。

(管理者) 仮に一緒にたにしたとしても、新炉の建設とともにその中にすべて入れ込むのだからという話。

(浜区) 予算を別に立ててくれたらいい。

(管理者) 今、区民である皆さんが、ニーズを知りたいというのはそこにあって、10年先のことを今から言って10年後に建つでは、すごいタイムラグがある。だから、当然のことながら、実際にどういったものが望ましいのかを考えたい。切り分けてというより、総合的にどういう方策があるのかということを考えたいということ。

(副管理者) 10年先、経ってから考えるのではなく、我々もできるだけ早く全体を見て話をさせていたきたいと思う。

(浜区) 全体構想もまだ決まっていないと、万博みたいなものでどんどん増えていくことになるかもしれない、はっきり決まらないと。だから、10年後、13年後、15年後になるかもわからないと。その全体の中の予算として、浜区に対してこれだけの予算が付けられるかと言っていたと思う。切り分けて考えてほしいというのは、もともとの合意は三つあった。焼却場本体に対するものと、それを増強したとき、それと作っていただいた浜区民センターに対する維持管理の三つがあった。それが、ひっくり返されているような印象を受ける。

(副管理者) 予算の組み方はまた別として。

(管理者) いずれにしても総合的に考えながら、どういう方策が必要なのかということは、これから水面下で調整させていただきたい。

(浜区) 予算に関しても、温水プール並びに職員の駐車場になっているゲートボール場の部分の代替えということで、先に計画を立てて予算化をしていただきたいという要望である。

(局長) 施設を建てるとなれば、全体計画の中でやりくりすることになる。

(浜区) 敷地内でなくても結構。それもちょっと考えてほしい。

(局長) そこは我々では…。

(浜区) 我々は敷地内に執着しないから。

(浜区) 保育所ができたように最大で浜区内。

(浜区) 浜区からちょっと離れても構わない。

(管理者) いずれにしても、ちゃんとコミュニケーションをとらないと、お互いにとっていい物を作っていかないと、変なところで亀裂を生んでしまうと非常にもったいないことになっていくし、非常に時間がかかってしまうことがある。

冒頭で言ったのは、投げ掛けがあった。こちら側はいろんな意思があるのだが、それならそれで何らかの返答を投げてこなかった。そこに関しては非常に申し訳ないと思っている。これからはもう少し織り込んだ話をやっていければ非常にありがたいと思う。

(浜区) 早いことボールを投げてほしい。

(浜区) 我々も何らかの文書でいただかないと、区民に報告しないといけない。

(浜区) 逆の立場になったら言われる。あの時の区長があんなことをやった。それはできないだろう。どこかで妥協しなければいけないのはよく分かる。だが、妥協してくれと言われてどこで妥協するか考えるのはお互い様である。だが、会ってこそできるので。

(管理者) すべてを文書でしたためようとするは無理がある。

(浜区) それはわかっている。

(管理者) 文書にしたための部分は、もしかすればぶっきらぼうな文書になるかもしれないが、ちゃんと水面下で話を進めさせていただきたい。

(浜区) 先ほど交渉と折衝と言っていたので、折衝を繰り広げていただきたい。折衝では、いくつもボールを投げてください。一つでも二つでも構わないので、とにかくそちら側からボールを投げかけてきてほしいとずっと言っている。

(浜区) 2年前から懇切丁寧に要望書を、前々区長の小寺区長の時から出している。その返答もない。今回、令和5年9月12日にもまた懇切丁寧に要望書を提出し、文書で返答くださいと言っているにもかかわらず。これはちょっと失礼ではないか。区民に対して説明ができないというところがあるので、十分くみ取っていただいてお願いしたいと思う。

(管理者) それを踏まえて、いただいたものに対してどのように返して。もうすぐそういう区の総会がある…?

(浜区) 理事会がこの日曜日にあるので、その時に報告しないといけない。9月末と期限を切って文書を出してくださいと言っている。その結果を何も出なかったと。お前ら役員は何をやっているんだという形になる。それで今日は、案が出るものだと思って出席したわけである。だが一切出なかったということ。どう説明したらいいのか。

(浜区) 山本管理者から複合的な施設云々というのが語られたというのが記録に残っているので、それ以外にいろいろと…。

(管理者) 例示としてである。

(浜区) 早くボールを投げてくれ。

(事務局) 時間も来ましたので、そろそろ…。

(浜区) 記録は我々に送ってほしい。何も撮っていないので、よろしくお願いします。

《閉会》